

市民一人当たりの決算額

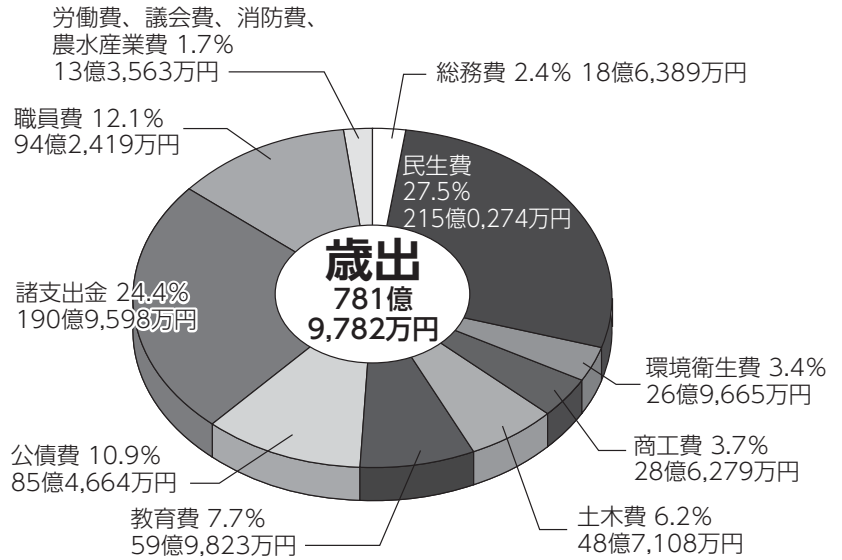
市税負担額
155,213円 (2,930円減少)
使われた経費
449,640円 (42,687円増加)

●●●●● 主な内容 ●●●●●

- ◆ 扶助費【福祉の充実に】
111,136円 (2,660円増加)
- ◆ 人件費【職員の給与などに】
49,736円 (344円減少)
- ◆ 公債費【借入金の返済に】
48,709円 (4,278円増加)
- ◆ 投資的経費【施設建設などに】
39,180円 (11,715円増加)



※金額は一般会計の決算額を平成25年3月31日現在人口173,912人で割ったもの。()は対前年比



地方譲与税、交付金や道支出金などが減少しているものの、国の経済対策による国庫支出金が14億4千434万円(11・7%)、繰越金が2億3千773万円(53・4%)増となったことなどにより増えています。

歳出のうち、臨時事業費は総額191億8千892万円、今後のまちづくりに必要な事業である道路・公園の建設・改修をはじめ、拓進小学校建設、若草町市営住宅建設や、学校改修事業、緊急雇用創出事業などを実施しました。また、毎年度経常的にかかる経費については、景気低迷による扶助費の増加となっています。

財政健全化比率	(単位: %)	
	苫小牧市指標	早期健全化基準
実質赤字比率 標準財政規模に対する、一般会計等の実質赤字額の比率	-	11.50
連結実質赤字比率 標準財政規模に対する、全ての会計の赤字や黒字を合算した「赤字」の比率	-	16.50
実質公債費比率 公債費(地方債の元金及び利子の支払いに要する経費)及び公債費に準じた経費の比重を示す比率	10.4	25.0
将来負担比率 地方債残高ほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率	99.4	350.0
資金不足比率 公営企業ごとの営業収益に対する資金不足の比率	苫小牧市指標	経健全化基準
沼ノ端鉄北土地地区画整理事業特別会計	-	20.0
水道事業会計	-	
下水道事業会計	-	
市立病院事業会計	-	
土地造成事業会計	-	
公設地方卸売市場事業会計	-	

財政健全化に関する指標

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、財政健全化に関する指標の公表を行っています。

■ 下水道事業
理した純利益は3億5千万円でした。

快速で衛生的な生活環境を保つため、明徳地区等の污水管を整備し、水洗化便所普及率は99・7%になりました。また、青雲、のぞみ、美原、柏木、明野新町、新開地区などの浸水対策として、雨水管を整備しました。合流式下水道改善対策としては、北光、青葉、大成地区の污水管面整備、西部地区の污水幹線整備、また、西町下水処理センター場内ポンプ場の電気設備工事を行いました。収益的収支は5億1千608万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は4億5千856万円でした。

■ 市立病院事業
急性期医療に対応した高度な先端医療を提供しています。医師の人材確保、7対1看護体制の維持、医療スタッフの確保を図り、前年度と比べ医師2人・理学療法士、言語聴覚士各1人などの増員を行いました。また、放射線技術科の据置型デジタル式汎用X線、検査科の超音波診断装置等の医療機器を整備しました。

企業会計決算一覧

会計名	収入	支出	差引	
水道事業	収益的	29億3,678万円	25億6,346万円	3億7,332万円
	資本的	14億8,627万円	30億4,647万円	△15億6,020万円
下水道事業	収益的	38億9,828万円	33億8,220万円	5億1,608万円
	資本的	37億5,890万円	56億0,181万円	△18億4,291万円
市立病院事業	収益的	106億1,177万円	94億7,891万円	11億3,286万円
	資本的	5億9,321万円	15億6,212万円	△9億6,891万円
土地造成事業	収益的	13億5,860万円	2億3,355万円	11億2,505万円
	資本的	-	3,009万円	△3,009万円
公設地方卸売市場事業	収益的	1億4,393万円	1億2,492万円	1,901万円
	資本的	1億4,132万円	1億5,611万円	△1,479万円
計	収益的	189億4,936万円	157億8,304万円	31億6,632万円
	資本的	59億7,970万円	103億9,660万円	△44億1,690万円

市民に安全・安心な生鮮食料品などの安定供給を図るため、卸売市場を開設しています。将来的な冷凍品の需要供給に対応するため、水産物部で冷凍倉庫を建設しました。収益的収支は1千901万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は1千298万円でした。